WAKATSUBAKI MATSUYAMA 2012

60th MATSUYAMA JC

社団法人 松山青年会議所

わかつばき

JCI

Vol.12
2012

６０年の歴史に　感謝しながら生き抜こう　そして未来を切り拓こう

二〇一二年度卒業生
二〇一二年度委員会報告
特集

松山青年3団体スポーツ交流大会
参加報告

社団法人 松山青年会議所
11月例会「全国大会を考える」
参加報告

第２回定時総会にて

理事長便り

Vol.11

社団法人松山青年会議所
第60代理事長 帽子 大輔

支えてくださった皆様、本当にありがとうございました

二〇一二年も、残すところわずかとなりました。皆様にとって今年はどのような年だったでしょうか。私も二〇一二年を振り返るとともに、今年支えてくださった多くの皆様への感謝の気持ちで溢れています。松山JCに関わりいただいたメンバー、シニアの先輩諸兄、そして市民の皆様に心より感謝申し上げます。

今年は年頭にもご挨拶いたしましたが、大きな三つの荷いがありました。一つ目は井川直樹君が松山JCから、四国で初めての日本JCの会頭となりました。多くの支えをいただきながら、メンバーの皆様にも助けていただき、彼を支えることができました。そして、彼は日本JCの第六十一代会頭としてその責務を全うし、先に行われました世界会議台北大会のJCIアワードにおきまして、「BEST OF OUTSTANDING NATIONAL PRESIDENT（その年に最も秀でた会頭）」という栄誉をいただきましたことをご報告いたします。これは日本JCの全メンバーの皆様のおかげであると同時に、一切の妥協を排して頑張られた井川会頭自身の努力によるものであり、心からの敬意と感謝の念を抱いております。

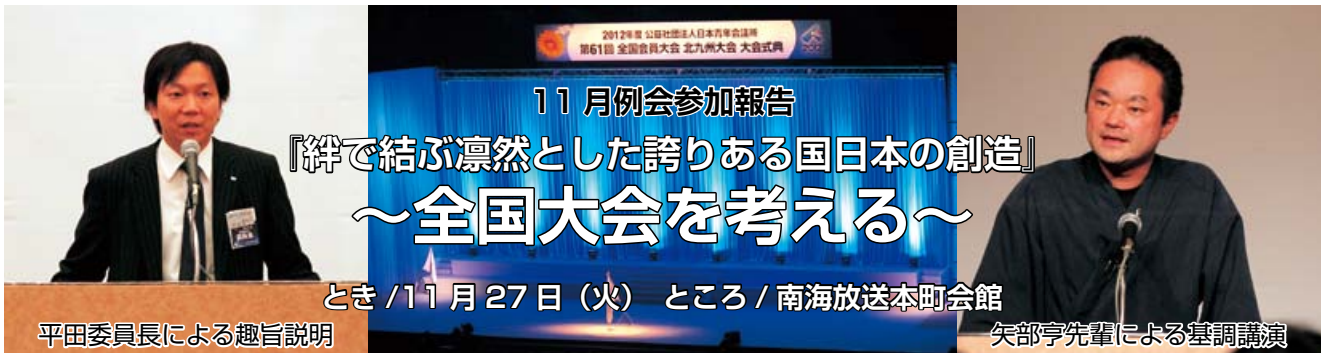
二つ目は全国大会の準備であります。昨年よりも委員会数を増やし、委員長・副委員長候補者を増やすと同時に、二〇一四年への人材の育成に努めてまいりました。各方面の事業に対して多くのメンバーに参加いただいたのは、本当にありがたく感じましたし、心強くもありました。また、最終年度にもかかわらず、役職を引き受けてくださった方や一メンバーとして多くの機会に参加いただいた方もありました。最後の年に、精一杯JCに時間を費やし、松山JCの運動にご協力いただいたことは、生涯忘れません。

三つ目は創立六十周年を迎えることでありました。多くの人との「つながり」を感じることができました。それも過去から未来まで、歴史を超えて人との「つながり」を持てたことは、JCの存在意義を強く感じる節目でもありましたし、シニアの皆様の偉大さをあらためて感じることともなりました。

これらを全てやり遂げることができたのも、メンバーの皆様に本当に助けていただいたおかげであります。また、理事長という役職と松山JCという組織とメンバーを、一年間お預かりした私は、多くの出会いと経験、そして学びをいただき、今年ほどJCに入って良かったと思うことはありませんでした。もちろん、理事長職はことばでは言い表すことのできない重責でしたが、精一杯努力をいたしました。頑張れたのは、皆さんがいたからです。皆さんが見ていてくれたからです。この『わかつばき』を見ていてくれた皆さんがいたからです。本当にありがとう。そして今、私の仕事は増田大典次年度理事長に松山JCをお返しし未来へ繋ぐことです。

一年間ありがとうございました。あらためて感謝申し上げます。そして来年も、増田次年度理事長をはじめ二〇一三年度の松山JCを、何卒よろしくお願いいたします。

そうそう、最後に門屋光彦専務、一年間ありがとう。あなたのおかげで十二月三十一日まで職務を全うできそうです。最後の理事会で、ことばを伝えることができませんでした。本当にありがとう。



震災の復興支援で生かされた強い「絆」

十一月二十七日（火）、南海放送本町会館テルスターホールにて、松山JC十一月例会「絆で結ぶ凛然とした誇りある国日本の創造　～全国大会を考える～」が、広報委員会の担当で開催されました。まず、全国大会への参加経験のないメンバーのために、広報委員会の撮影動画等を使い、全国大会北九州大会のバーチャル参加体験をしました。そして広報委員会の平田裕二委員長から、「一人の力でできることには限界があり、人と人との『絆』がなければ全国大会のような大きな事業を成功させることはできない」との説明があり、JC活動で最も美しい「絆」として、昨年の東日本大震災の支援援活動を検証するため、千六百キロ離れた東北・塩竈市より矢部亨先輩を講師としてお招きしました。矢部先輩は日本JC二〇〇八年度東北地区担当常任理事をされたJCネットワークを生かして全国からの支援の窓口役となり、現在も支援活動を続けられ、先日の『週刊ダイヤモンド』に記事が掲載されたほどの方です。

東北を支える愛媛支援の会や我々松山JCが震災後に行った支援に感謝し、支援してくれた方の顔が見たくて会いに来ましたと伝えられ、JCの「絆」を身を持って教えてくださいました。矢部先輩の話される被災地での現場の生の声は、参加メンバーの心にしっかりと伝わりました。

その後、全国大会を考えるパネルディスカッションでは矢部先輩と二〇〇八年度愛媛ブロック協議会会長の高田勝人先輩、東北を支える愛媛支援の会代表の寺川洋史先輩、二〇〇八年度全国大会運営会議副議長大野剛嗣君をパネリストに、松山JC次年度理事長増田大典君をコーディネーターとして行いました。例会中にはメンバーが涙を流す場面もみられました。二〇一四年の全国大会松山大会に繋がる良い例会となり、メンバー間の絆と友情がより一層強くなりました。

パネルディスカッション「全国大会を考える」

社団法人　松山青年会議所
2012年度委員会　委員長報告

激動と試練の一年を振り返って

総務広報渉外室　総務渉外委員会

委員長
橘川　直人

手帳・名刺の作成や総会など、LOM内における業務の統括や、年始の賀詞交歓会、創立記念式典など、年間を通じて委員会メンバーと共に事業を行ってまいりました。渉外では、京都会議や全国大会などの宿泊手配等で皆様の活動の一助となることができたと考えます。また、二〇一二年度は創立六十周年ということで、例年よりも多くの来賓・来訪者をお招きすることとなりました。創立記念式典においては、結果として準備不足等により、納得のいく式典にはなりませんでした。この反省点は次年度以降、そして来る二〇一四年度全国大会主管に向けて、しっかりと引き継いでいかなければならないと感じております。門屋光彦専務、菅正一朗室長には、委員長として至らぬ部分をサポートしていただき、また見守っていただき感謝しております。委員会メンバー、藤江昇副委員長、杉野康雄幹事にも、準備段階から本当に支えられました。振り返りますと、実に多くの方々に支えられていました。あらためて、青年会議所活動の数ある良さの一つを実感いたしました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

総務広報渉外室　広報委員会

委員長
平田　裕二

十一月例会では、全国大会成功のために必要なJCの絆を検証するため、被災地東北より講師として矢部亨先輩をお迎えしました。参加者が涙を流すほど印象に残る例会ができたことは、一生忘れません。広報誌『わかつばき』では、委員会メンバーが協力し撮影することで、多くのベストショットを掲載し、活動をしっかりとPRできました。MJCに関しては、各種事業を積極的にトピックスにアップすることで、アクセス数を昨年比約1.5倍にすることができました。ポケットティシュの配布では、直接市民と触れ合うことが我々自身の意識高揚にも繋がりました。広報委員会メンバーとの友情と、広報委員会事業に関わっていただいた全ての皆様に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

未来室　拡大アカデミー委員会

委員長
冨永　良紀

会員拡大目標四十名の目標を掲げましたが、実際は二十名の入会にとどまってしまいました。力不足だったと痛感しております。原因として、リストアップした候補者の数が少なかったこと、四月入会に向けた動きが遅かったことが挙げられます。委員長をやることが決まってすぐに、来年に向かって拡大活動を行う必要があると感じました。次年度はそのあたりの経験も踏まえ、しっかりと引き継ぎを行い、良いスタートを切っていただきたいと思います。目標には達しませんでしたが、大変、意識の高いメンバーが入会したくれたと思います。一年間ご協力いただいたすべての皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

未来室　ひとづくり委員会

委員長
松平　定剛

私たちひとづくり委員会は、「ことばのちから」をテーマに、三回の例会を行いました。第六十三回全国会員大会の主管が決まり、全国から訪れるJCメンバーに松山の地域のたからを感じていただきたいとも思います。それには松山JCメンバー自身が、松山の地域のたからである「ことばのちから」を理解しなければなりませんし、常に新しい地域のたから「ことばのちから」を創造していかなければならないと思います。ひとづくり委員会が行った三回の例会を通して、「ことばのちから」というものがどのようなものかを知っていただけたと考えますし、新しい事業の創造への一助にはなれたかと思います。皆様、ありがとうございました。

地域歴史文化室

地域振興委員会

委員長
白石　圭

約七千人の愛媛マラソンのランナーのお接待や、約1千人を動員したまつやま市民シンポジウム、どれも松山JCメンバー総出でご尽力をいただいたお陰で、素晴らしい成果を得ることができました。また、出席優秀委員会に選ばれたのも、メンバーの皆様一丸となり得られたものです。松山JCの皆様には深く感謝いたします。ここでしか得られない感動や友情は、卒業しても私の心の中で輝き続けることと思います。

松山JCでの様々な活動を通じて、たくさんの経験をさせていただきました。皆様がいたからこそ成し得ることができたものばかりで、委員長という大役が務められましたことも無事卒業の日を迎えられることも、皆様のお陰でございます。かけがえのない四年間を本当にありがとうございました。

地域歴史文化室

歴史文化委員会

委員長
梶木　龍臣

歴史文化委員会では、大きく二つの事業を行いました。松山春まつりお城まつりでは、堀之内公園でのB級グルメイベントの効果もあり、過去最高の集客を行うことができました。市民の皆様に、地域活性化運動の参考となりうる提案ができたものと考えております。また家族例会では、メンバーと家族を交えた交流ができ、家族の皆様にもJC運動の一端を感じていただきました。事故もなく事業を成功させることができたのは、委員会メンバーをはじめ、全メンバーの献身的な努力の賜物です。一年間大変お世話になり、ありがとうございました。次年度春まつりもよろしくお願いします！

地域連携室

地域コミュニティ委員会

委員長
神野　能成

当委員会は、青少年の健全な育成のために活動してきました。また、二〇一四年度に開催される全国大会松山大会に向けて、「ことばの力」プロジェクトも始動いたしました。しかし、各事業とも不備が多く、完成度もバラバラです。特に、「ことばの力」プロジェクトにおいては、今年度は模索の連続で、見切り発車の部分もあり、子供たちには悪いことをしたと思っています。

当委員会の主役は、子供たちです。大人の都合で事業が湾曲することなく、子供たちの笑顔のために、できたことは今以上に、できなかったことは、蓋をするのではなく、そのことを真摯に受け止め、次年度以降、子供たちの最高の笑顔のために引き継いでいきます。それが、明るい豊かな社会の実現の礎となると確信しています。

最後に、今年一年間支えてくださった委員会メンバーに感謝しています。ありがとうございました。

地域連携室

創立六十周年実行委員会

委員長
古川　章一

「六十年の歴史に感謝しながら生き抜こうそして未来を切り拓こう」のスローガンの下、帽子大輔理事長にアイデアを頂き、委員会ではメンバーとしっかり議論をし合い、何とか一年間運営を行うことができました。

この一年間を振り返ってみると、他LOM・行政・市民をしっかり巻き込んだ事業展開ができ、自分自身にとって本当に実りの大きい一年だったと思いますし、このような機会を与えていただきましたことに何よりも感謝しております。そして担当ラインの岡田和徳室長・松本仁副理事長・長曽我部昭一郎監事には相談役として方向性を導いてくださったこと、委員会メンバーには一年間未熟な私を支えてくださったことに、心から感謝申し上げます。本当に一年間ありがとうございました。

特別出向室

特別出向委員会

委員長
黒田　尚樹

二〇一二年度、帽子大輔理事長よりいただいた職務として、まず「二〇一四年度第六十三回全国会員大会主管青年会議所現地調査並びに対話集会」の設営、そして本年度の公益社団法人日本青年会議所会頭輩出LOMとして、また二〇一四年度全国大会を主管する上で「出向について考える」をテーマとした例会開催の二点があり、委員会メンバーと共に頑張ってまいりました。もう一つ、委員会の担いとしてメンバー一同、日本JCの渉外委員会に出向し、京都会議から世界会議、その他諸会議、座談会等に参加し、会頭補佐を務めることができました。これも今年一年間、メンバーの皆様と一緒にJC活動ができたからだと思います。後藤浩之副委員長、横山伸也幹事、野中信辰君、橘信也君、西野完君、福島栄希君。心から感謝を申し上げます。大変お世話になりました。

社団法人　松山青年会議所

2012年度 卒業生紹介

～ 我がJC人生に 悔いは無し ～

JCでは満40歳になる年の年度末（12月31日）に満期扱いとなり卒業するという決まりがあります。そして2012年度には松山JC活動に貢献され続けた21名の卒業生を送ることとなりました。人の数だけ人生があり21名それぞれのJCライフがありました。JCへの思いも様々です。子供にいかないでと通せんぼされながらも振り払って出かける姿。自分や自分の子供のためだけでなく全ての子供のために、そしてこの松山、愛媛、四国、日本のためを思って利他の精神で活動を続けていただきました。

原稿の中には卒業生の皆さんから後輩へ残していただける重要なメッセージも多く含まれています。現役メンバーの皆様には、ぜひ今後のJCライフの参考にしていただければ幸いです。卒業生の皆様、本当にお疲れ様でした。おめでとうございます。そしてありがとうございました。

赤松　功朗　君

㈱上浮穴産業
経理部長
歴史文化委員会所属
2004年2月入会

九年間のJC活動でした。当初所属委員会が「俳句甲子園」事業担当の委員会ということもあり、「春まつり」などの事業系の委員会を携わってきました。そこで感じたのは、事業に向けて担当スタッフ、委員会メンバーはもちろんですが、LOM全体が団結することができる素晴らしさでした。二年後には、松山で開催されます全国大会という大きな事業が控えております。大変なこともあるかと思いますが、頑張ってください。今まで大変お世話になりました。

井川　直樹　君

愛媛パッケージ㈱
代表取締役
特別顧問
2004年2月入会

ありがとう。青年会議所において、多くの意識変革の機会とかけがえのない仲間に出会えたことに心より感謝しています。時が流れても、「青年会議所は意識変革の機会を提供する場として、参加したそれぞれが人間的に豊かに成長するとともに、精神爽やかにして義気凛然とした印象を残すことができる団体」であってほしい。たった一度だけの与えられた人生、プリンシプルを持って行動し続けることこそが「勇気」であり、「本物」へと昇華する原動力となるのです。私とともに歩み、支えてくれた仲間と出会えたすべてのひとに心からのありがとう。

和泉　北斗　君

㈲大洋通般
代表取締役
監事
2003年5月入会

十年間、たいへんお世話になりました。病に苦しんだ三十代ではありましたが、青年会議所のおかげで、明るく、厚みのある「時間」にさせていただくことができました。青年会議所活動を通じて、松山の地域に対して有用な「奉仕」ができたかどうかわかりませんが、自分自身への「修練」という意味では、まだまだ未熟ながら確信を持って、成長の糧になったと思っております。この会のご縁で知り合うことができたメンバーの皆様との「友情」は、今後も忘れることなく、大事にしてまいりたいと思っております。残られる皆様にとっても、このJCと触れ合う「時間」が実り多き「時間」であることを祈念しております。ありがとうございました。

㈱池総　井関　圭太郎　君

総務渉外委員会所属
2007年7月入会

今思えば、あっという間に卒業の日を迎えることになりました。会員拡大委員会を経て、総務委員会でほとんどの期間大変お世話になりました。入会していなければ出会うことのなかった数多くの仲間に出会い、楽しく過ごすことができました。JC活動としては全く何もできなかったなと思っておりますが、この貴重な経験を自分自身の今後に十分に反映させ、頑張っていきたいと思います。皆々様、大変お世話になりました。

鉄建工業㈱
代表取締役社長　宇野　健一　君

地域振興委員会所属
2007年4月入会

入会して六年。本当にあっという間の六年間であったと思います。振り返ってみると、忙しさを理由にあまり多くの活動に参加できなかったことが心残りではありますが、松山青年会議所で知り合えた多くの松山人との楽しい思い出は大変大きな喜びであり、知り合えた多くの松山人との縁を、今後も大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

㈱松山三越　江戸　まゆみ　君

地域振興委員会所属
2010年7月入会

会社の看板を背負って入会した二〇一〇年七月。入ってすぐで在籍年数の少ない自分に「何ができるか」を考えると、まず「みんなに覚えてもらう」。そのためにはまず参加することから始めました。例会、委員会、動員……、そして昨年、二〇一四年の全国大会松山大会が決定し、自分も卒業まであと一年。一般社会ではおそらく経験することがないであろう全国大会を経験したく、日本青年会議所全国大会運営会議への出向。そんな中で感じたことは、ぜひ色々なことへ参加してみてください。皆さんなら必ず成功させられます！あっという間の二年半でした。ありがとうございました。

㈲白魂
料理長　大野　功喜　君

総務渉外委員会所属
2006年2月入会

入会七年目で卒業となりました。職業柄、外部の人との接触が極めて少ない環境でやっていましたが、JCに入会させていただいた後は、夜の街を歩くと知ってる方と会わないことがないようになりました。かけがえのない友人とも巡り合えましたし、仕事の面でも本当にたくさんのJCメンバーに支えられ、感謝感激でございます。ありがとうございました。JC万歳！！

オオノ開發㈱
常務取締役
直前理事長　大野　剛嗣　君

1997年6月入会

実家の家業に帰ってすぐにJCに入会して十数年、思えばいろいろな人との出会いがあり、いろいろな所に足を運びました。地元まつやまだけでなく全国、世界中で友情を育む機会に恵まれ、本当に感謝しています。生意気だった私に多くの先輩がご指導くださり、また多くの後輩に支えてもらい、本当に自分自身成長させていただきました。四十歳になり、やっとハナタレ小僧を卒業させてもらうにあたり、ここで経験し学んだことを、家庭、会社、地域の活性化に貢献できるように、ひとりのJAYCEEとして生きて行こうと思っています。本当にありがとうございました。

㈱花森　大森　友之　君

地域コミュニティ委員会所属
1999年1月入会

「あっ！！」という間だったような、随分長かったような不思議な感覚。遠い昔のことのようにも、つい昨日のことのようにも、いろいろな出来事が思い出されます。そんなJC活動の中で、辛かったことも、苦しかったことも、もちろん楽しかったことも、今となっては全てが自分のこやしとなり、たくさんの学びを頂いたと感謝しております。今まで支援や励ましを頂いた皆様、私は無事、卒業いたします。大変お世話になりました。

川井 岳 君

㈱アグサス
管理本部本部長
総務渉外委員会所属
2010年4月入会

入会してわずか三年のJC生活でしたが、あっという間に過ぎてしまいました。入会後、県外の仕事が多くなり、あまりJC活動に貢献できず残念です。そんな中、仕事では知り合いになれない多くの方々と友達になることができました。また、いろいろな経験をすることができ、大きな財産になりました。有意義な三年間を過ごすことができました。そして松山JCの皆様、総務渉外委員会の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

菅 正一朗 君

北四国エアコン㈱
代表取締役
総務広報渉外室室長
2005年5月入会

県外から帰郷し家業を継ぐと同時に、当時シニアだった父から勧められ、「入った」というよりは「入れられた」松山青年会議所。入会当初はJCも新人、会社でも新人。まだ現場監督をしていた頃は、JCの私事のために、仕事関係に支障をきたすことはできないので、例会・委員会等に遅れる日もあれば、会が終わってから会社に帰り、朝まで図面を描いたり、翌日の段取りをしたりと、いろいろなことに気を使い、いろいろな場面で申し訳ないと思ってきました。今は他界した父が「JCでつくった友達は、一生の友達やけんな」と言っていたのが、この最近、特に頭の中に浮かんできます。お世話になった皆さん、お知り合いになれた皆さん、今まで本当にありがとう。JC入って良かったわい。

北村 斉 君

㈲嵯峨野屋
代表取締役社長
ひとづくり委員会所属
2000年5月入会

知らない町にやってきて始めた小さな自営業者が、この町で生きるために知り合いを求めて入会したのがJCだった。世間知らずで生意気な私を待っていたのは、子供じみた、かなり陰惨で辛辣な歓迎であった。負けたくない一心で知識を増やし、金が無いので体を使い、様々な経験を重ねているだけで十年余りが過ぎた。結果として、感謝しつくせない先輩達、かけがえの無い心友、少々の知識、重い体を得た。それで充分幸せなのだろう。私を卒業まで導いてくれた心友のMに、この卒業を捧ぐ。

小西 健一 君

富士造型㈱
営業開発部部長
地域コミュニティ委員会所属
2008年2月入会

今年JCを卒業するにあたり振り返ってみますと……、JC生活は五年間でしたが、今までの人生の中で最も濃密な五年間を送れたような気がしています。会社外、業界外の友達もたくさん増え、自分の会社や仕事に対する業界外からの評価等も聞くことができ、貴重な体験をすることができました。仕事関係抜きで付き合える友達をつくることができたのが、自分にとって一番のJC運動の成果だと思います。ありがとうございました。

白石 圭 君

㈱ジ セッション
代表取締役
地域振興委員会委員長
2009年3月入会

入会してからの四年間、あっと言う間でしたがたくさんの経験をさせていただき、本当に濃い四年間でした。最終年度には委員長を務め、愛媛マラソンの支援や、まつやま市民シンポジウムには講師として落合博満氏を招待できたことも、周りの皆様の支えがあったからこそと思います。松山JCでの活動を通じて、かけがえのない時間をメンバーの皆様と共有できたことは、私の誇りです。メンバーの皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

瀬川 徹 君

㈱コスモ
代表取締役
ひとづくり委員会所属
2005年2月入会

なにも分からずJCに入り、八年の歳月が流れました。あっという間に卒業！！ ちょっと寂しい気持ち！！

六年間の春まつり委員会、一年間の総務委員会、最後の一年のひとづくり委員会、たくさんの仲間との思い出を胸に卒業させてもらいます。因みにJC入って十五kg太りました。現役の皆さん、体調に気を付けながら、友情を育んでいってください。本当にありがとうございました。

玉井 裕二 君

㈲タマイ企画
ひとづくり委員会所属
1997年2月入会

平成九年二月に入会してからこれまで会員期間が長かったため、総務から事業系まで様々な委員会を経験させていただくことができました。想い出も多く作ることができ、JCに入会して本当に良かったと思います。最後に皆さんにお伝えしたいことがあります。皆さんにもいい友達をつくってほしいということです。私はついに卒業しますが、どこかでお会いした際には気楽にお声かけください。長い間本当にありがとうございました。

長曽我部 昭一郎 君

宗教法人 伊豫豆比古命神社
監事 権宮司
2001年5月入会

在籍十二年、様々な経験と沢山の友情を育ませていただきましたことを、まずもって皆様に感謝いたします。その全てが、四十歳までという限られた時間にしか活動することのできない、貴重な経験ばかりでした。卒業にあたり、これまでを振り返りながら、「もう」終わりなのか、「やっと」終わりなのかに思いを馳せてみました。どちらが正解・不正解はないと考えますが、皆さんも後悔なく、それぞれの思いのままに、JC活動の限られた時間を精一杯楽しむことが一番だと思います。十二年間、ありがとうございました。

花山 浩司 君

㈱アサヒ
東京営業所
創立六十周年実行委員会所属
2007年7月入会

昨年に引き続き、ラストイヤーに全国大会運営会議の幹事として出向させていただき、本当に感謝です。ただ、それを言い訳にLOM内での委員会活動がおろそかになったことは非常に残念ですし、メンバーにも申し訳ない思いです。出向して良かったことは、LOMでは味わえない多くの経験と多くの仲間ができたことです。メンバー皆、平等にチャンスはあります。時間もお金も掛かりますが、全ての経験が財産になります。これまでの経験を踏まえ、松山大会に向けシニアとして頑張ります。

藤江 昇 君

全国健康保険協会
企画リーダー
総務渉外委員会副委員長
2010年7月入会

入会して初めて出席した例会で新入会員代表挨拶をさせられ、年末には屈辱的な姿でダンスをした一年目。自身の四十周年と、LOMの六十周年の誕生日が重なった今年の夏。数カ月を経た今でも視野が霞みます。しかしながら、職場や普段の生活では体得できない修練・友情を実感した日々でした。これからも全国大会に向け戦いの日々が続きますが、一シニアとしてできる限りのお手伝いをしたいと思います。ありがとうございました。

前崎 明 君

㈲つねおか保険事務所
地域歴史文化室室長
2006年2月入会

二〇一四年全国会員大会を前に卒業してしまうことを、とても残念に思っています。これから先の二年間は本当に大変だと思いますが、様々な負担をマイナスの感情で受け取るのではなく、自己を成長させるためのチャレンジと捉えて頑張ってください。私もシニアクラブのメンバーの一人として、個人の立場で、大会が終わるその日まではできるだけ現役の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。これからもよろしくお願いいたします。

渡部 尚 君

丸協運輸㈱
代表取締役社長
総務渉外委員会所属
2007年7月入会

松山JCの先輩や現役メンバーの皆様のお陰で無事に卒業することができました。自分たちの行っている事業が、松山の明るい豊かな社会を築くためにどれ程貢献しているのか、自問自答しながらの六年間となりましたが、この歳で社外の仲間達と苦楽を共にできたのは、何よりの財産となりました。二〇一四年に向けて不安や焦りが出てきているかとは思いますが、仲間と苦楽を共にしながら最高の全国大会を開催してください。六年間本当にありがとうございました。

松山青年3団体（松山YEG × 松山法人会青年部 × 松山JC）スポーツ交流大会

参加報告

11/29（金）松山市青少年センター

松山JCがドッジボール連覇！

十一月二十九日（金）、十七時三十分より松山市青少年センター体育館にて「松山青年三団体スポーツ交流大会　～松山青年三団体ドッジボール頂上決戦～」が開催されました。

松山商工会議所青年部、社団法人松山法人会青年部、社団法人松山青年会議所の三団体の交流を、スポーツを通じて更に深めることを目的として開催されました。我々松山JCからは二十五名のメンバーが参加しました。松山JC岡田和徳君による選手宣誓、ルール説明の後、五チームにより十分間十五人対十五人の試合が行われました。結果、松山JCのAチームが見事に優勝、連覇を果たしました。

公益社団法人日本青年会議所 2014年度全国大会松山大会 副主管宣言文締結式 参加報告

県内LOMの協力をいただき無事締結。

二〇一二年十二月八日（土）にゴールドビル味酒にて公益社団法人日本青年会議所二〇一四年度全国大会松山大会の副主管宣言文締結式が開催されました。県内九LOMの二〇一二年度理事長と二〇一三年度理事長予定者と愛媛ブロック協議会の藤田優会長に署名・拇印をしていただき最後に松山JCの増田大典次年度理事長がお礼の言葉を申し上げました。

宣言文発表

拇印をいただく

じゃがいもクラブ

じゃがいもクラブ会長　菅野　崇

● 松山JCじゃがいもクラブ12月例会（道後ゴルフ倶楽部）

1.5ラウンドの今季最終戦を制す！

２０１２年じゃがいもクラブ最終戦「取切戦」が、道後ゴルフ倶楽部にて開催され、寒い中、１.５ラウンドの戦いを制したのは、現役メンバーの野中信辰君でした。おめでとうございます。

また、夜には総会・懇親会を開催し、本年の決算等、全会一致にてご承認いただきました。今回をもちまして、私のいも長としての役目も終了となります。当会の頭として、至らぬ点も多々あったと思いますが、１年間、本当にありがとうございました。

来年も、じゃがいもクラブをよろしくお願いいたします。

優勝
野中　信辰 君

SUGA

鳶工事専門業

株式会社 須賀組

〒791-8006 松山市安城寺町263-11
TEL (089) 927-0777　FAX (089) 923-3961
E-mail : sugagumi@pop02.odn.ne.jp

KENSO

想いをカタチに…

株式会社 松山建装社

☎ (089) 941-5221(代) 松山市三番町7丁目1-7
URL http://www.kensosya.co.jp　E-mail info@kensosya.co.jp

これからは「かしこく」つなげる

MOBILE COM.
smart network service & support

NTTドコモ一次代理店・NTT西日本販売代理店

www.mobilecom.co.jp

---

car repair koizumi

代表取締役
小泉隆央

株式会社 小泉自動車

愛媛県松山市北井門町2丁目29-20　〒791-1105
TEL (089) 956-5518(代)　FAX (089) 956-5528
E-mail : koizumi@netcruise.co.jp

施設概要
各室89室(和室59室・洋室シングル28室・ツイン2室)350名収容／能舞台／結婚式場／コンベンションホール／会議室大中小宴会会場4室／料亭14室／レストラン／バー／クラブカラオケルーム2室／コーヒーショップ／ロビーラウンジ売店／大浴場／露天風呂／美粧室2室／写場／駐車場70台送迎バスあり

日本の宿　風姿花伝

大和屋本店

四国・松山・道後温泉

愛媛県松山市道後湯之町20-8　〒790-0842
TEL089-935-8880 FAX089-935-8881
http://www.yamatoyahonten.com

愛されて50年…
心も新たに100を目指して

旧社名 ㈲黒田電機商会

愛和電設株式会社

AIWA DENSETSU CO.,LTD

代表取締役社長　黒田　直

おかげさまで百周年、支えられて一世紀。

総合建設業　明治43年創業

株式会社 門屋組

代表取締役社長　門屋　光彦(てるひこ)

ご予約・お問い合わせ
913-8839
営業時間
17:00～0:00
(L.O. 23:00)

食楽癒庵 くら

松山市三番町1-11-3 西村商事ビル1F

マルマストリング

リフォーム&太陽光発電　クネット(手すり)

松山本社　松山市問屋町3番6号
TEL 089-922-2121(代表)
今治本社 宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津／営業所
http://www.marumasstrig.co.jp/

出張買取いたします!! 良質車・希少車求む

SCHATZ JAPAN Co.,Ltd.
TOTAL CAR BOUTIQUE

株式会社シャッツジャパン
本社・ショールーム・松山市北吉田町246-1　TEL 089-989-0050
買取ステーション・松山市北斎院町481-3　TEL 089-989-0052
営業時間 9:00～21:00　定休日 火曜日　HP http://www.schatz-j.com/

- car sales　国産車、輸入車、新車、中古車販売、自動車買取事業、オートオークション代行
- metal plate　自動車板金塗装、事故板金塗装
- inspection　車検、一般修理、一般整備
- insurance　株式会社 損害保険ジャパン 代理店　シャッツ損害保険

人にやさしく、環境にやさしく

ECOLOGY SERVICE

廃棄物の総合処理

松山容器株式会社

〒791-8042　愛媛県松山市南吉田町2145番地1
TEL 089-971-5403　FAX 089-973-1517
http://www.matsuyama-youki.jp/

真心の運転

株式会社 ハート交通

貸し切りバスのご用命は…
☎(089) 911-8810
〒791-8001 愛媛県松山市平田町311-1

「白い旅人」のお供承ります。
全国どこへでも、プランに合わせてご相談に応じます。グループでの旅行や巡礼・冠婚葬祭や各種イベントにご満足いただけます

リフォームならお任せ!!

株式会社　ビケン

0120－06－3138
〒790-0041
愛媛県松山市保免上1丁目17-2
TEL:089-947-3138
FAX:089-947-5098
URL:http://biken-ehime.co.jp

不動産のことならお任せ下さい！
～賃貸・売買・物件管理・土地活用～

Sanpuku

三福社宅サービスカンパニー

〒790-0012 松山市湊町5丁目5-5
TEL/089-915-2232 FAX/089-913-0329
URL/http://www.3puku.co.jp

MIRAI　The PRIDE of Made in JAPAN
株式会社エムケイトレーディング

「100人は100通りに」
- MIRAI GOLF -

ゴルフ30

Address :
4-3-10, Kosaka, Matsuyama-shi, Ehime-ken JAPAN
TEL: 089-931-6234 / FAX: 089-932-3244

PASTEM
MATSUZAWA

環境と未来(あした)を考えるシステムの包装商社

株式会社パステムマツザワ

〒791-8507
愛媛県松山市久万ノ台695番地1
TEL 089-925-7811(代表)
FAX 089-924-5993

熱・水・環境のベストパートナー

MIURA

三浦工業株式会社

http://www.miuraz.co.jp

四国支店　松山市堀江町1201-2　〒799-2651
松山営業所　TEL 089-979-1113

元気が1番!

地域に愛され、社会に貢献

アマノ印刷

〒790-0932 松山市東石井一丁目10-30
TEL089-956-2442　FAX089-956-2180
E-mail:amanop@poppy.ocn.ne.jp

Safe Driving Yamariku Express

車両輸送のプロフェッショナル私たち山内陸送が「運ぶ」プロとして、出来ませんとは言いたくない！

「信頼」「安全」「確実」「丁寧」

相談窓口　車のことで悩んだら、まずご相談ください！
(089) 933-1010
(月～日　9:00am～6:00pm)

車のことで悩んだら、まずはご連絡ください。

有限会社 山内陸送

TEL (089) 933-1010
FAX (089) 933-3548
E-mail : info@yamariku.jp

～地域の文化を大切にする～

清酒 桜うづまき

桜うづまき酒造株式会社
松山市八反地甲71 ☎089-992-1011

わかつばき WAKATSUBAKI 2012 Vol.12
平成24年12月18日発行
発行所▶社松山青年会議所：〒790-0067愛媛県松山市大手町2-5-7 ☎(089)941-0194
URL▶http://www.matsuyama-jc.or.jp ▶E-mail jimkyoku@matsuyama-jc.or.jp

社団法人 松山青年会議所 2013年度1月例会のご案内

「賀詞交歓会」

■と　き：2013年1月15日（火）
■ところ：松山全日空ホテル

皆様のご参加を
お待ちしております。

一年間
ありがとう
ございました

来年も
よろしくお願い
申し上げます

日本料理
すし丸
私たちが誇る故郷の味、伊予松山の食文化ー
創業六十年を越えて、未来に伝えたい…
株式会社 三好食産　http://www.sushimaru.co.jp
■ 本　店　松山市二番町2丁目3番地2
TEL 089-941-0447　FAX 089-945-1688
■ 道後店　松山市道後湯之町20-12 ホテルパティオドウゴ1F
TEL・FAX 089-932-6157
■ 仕出しセンター　松山市越智3丁目15番4号
TEL 089-958-0033　FAX 089-958-0034

オールドイングランド
道後山の手ホテル
松山市道後鷺谷町１－１３
TEL089－998－2111　www.dogo-yamanote.com
シングル(1泊朝食付)9,600円／ツイン(1泊朝食付)9,600円
※ツインルーム2名様ご利用時の1名様料金※休前日2,100円UP

大理石・庭石・エクステリア・タイル
M・G・Mストーン株式会社
STONE
Miura.Granite.Marble.STONE.CO.,LTD.
お墓・霊園・お墓のリフォームのことなら
お墓の斎院（さや）
〒791-8031
愛媛県松山市北斎院町58-1
TEL 089(974)5915　FAX 089(974)5917
お墓のさや　検索
MGMストーングループ